

第1回高知県における特別支援学校の再編に関する検討委員会

1 日 時 平成21年2月19日(木) 18:00～20:00

2 場 所 高知共済会館

3 出席者 委員15名中15名出席、事務局6名出席

4 議 題

(1) 会長、副会長の選出

(2) 検討内容の説明

(3) 説明「高知県の知的障害特別支援学校の現状と課題」

(4) 質問及び意見交換

4 内 容

議 題 (1) 会長、副会長の選出

推薦により会長は是永委員、副会長は岡田委員に決定。

議 題 (2) 検討内容の説明

・事務局から説明

議 題 (3) 説明「高知県の知的障害特別支援学校の現状と課題」(資料参照)

・事務局から説明

議 題 (4) 質問及び意見交換

○特別支援学校や特別支援学級に在籍する者の割合の増加については、保護者の間に特別支援学校の教育に対する理解が深まったことということが大きな要因ではないか。

○特別支援学校に就学する基準は、法令で決まっており、知的障害の特別支援学校に入る児童生徒は、知的障害があるという基準で判断をしている。発達障害を併せ有する児童生徒が増えている傾向はあるが、知的障害のない発達障害の児童生徒が入ることはない。

○医療現場から言うと、知的障害のある子どもたちが増えていると言われている原因の一つとして、低体重出生児の増加が考えられる。

○説明で示した推移予測は、いわゆる境界とかボーダーとか言われる児童生徒も加味して予測した。

○日高養護学校の児童生徒数増加は、高知市からの児童生徒の増加。山田養護学校は、南国市の人口増が要因ではないか。高知市と南国市の人口の変化についての資料が欲しい。

○高知市立養護学校と県立日高養護学校・山田養護学校の大きな違いは、寄宿舎があるかないか。高知市内の高知市立養護学校が近い場合でも、日高養護学校・山田養護学校に入りたいという希望者には、入舎希望が多くなっている。

○現時点の県教委の具体案の提示をお願いしたい。

○次回は、今回の質問への回答と肢体不自由特別支援学校の現状と課題についての説明を行う。その後は、事務局から一定の方向性を提示する。

○知的障害特別支援学校では、狭隘化が進んでおり、これ以上、学校レベルでの解決を求めることは厳しい。県教委が全県の視野の観点でリーダーシップを発揮してほしい。

○現在、プレハブ教室の設置等を行い対応を行っているが、根本的な解決にはなっていない。